

DPC コード決定支援ソフトウェア 「選択の種」

2012.10.06 版

1. 動作環境

1.1 OS

Windows 7 (32bit/64bit)、Windows 8(32bit/64bit)

.NET Framework4 がサポートする OS であれば動くので、Windows XP や Windows Vista も動きますが動作確認はしていません。

1.2 ランタイム

.NET Framework4 Client Profile

1.3 CPU

マルチコアを推奨

1.4 メモリ

1GByte 以上 (2GByte 以上を推奨)

2. インストール方法

インストール用バイナリファイルの setup.exe を直接実行し、画面の指示に従ってください。

アンインストールする場合は、コントロールパネルの「プログラムと機能」から、「選択の種」を選択肢、削除ボタンをクリックしてください。

3. 使用方法

3.1 プログラムの起動と終了

起動する場合は、「スタートメニュー」-「選択の種」を順次選択するか、デスクトップ上の「選択の種」アイコンをダブルクリックします。

終了する場合は、右上の × ボタンをクリックするか、終了ボタンをクリックします。

3.2 D ファイル、F ファイルの読み込み

フォルダー選択ボタンをクリックして、D ファイル F ファイルを置いてあるフォルダーを選択します。D ファイルおよび F ファイルは複数月数分読み込むことができます。ファイル名は「D 西暦2桁月2桁.TXT」「F 西暦2桁月2桁.TXT」というファイル名にしてください。

D ファイル、E ファイルの例: D1206.TXT F1206.TXT

3.3 特定識別コード・入院日で検索

識別コード・入院日の組を 5 件まで同時に検索することができます。テキストボックスに入力した後に「病名候補検索」または「出来高移行チェック」ボタンをクリックしてください。

3.4 一括検索

入力した退院日より後のデータを一括で検索します。「退院日」を省略した場合は検索条件に含めません。

「入院中」チェックボックスをチェックした場合は、入院中のデータを検索対象に含めません。

3.5 病名候補一括検索

チェックマスター.xlsx に従って、病名候補を検索し病名候補リストを出力します。

病名候補リスト出力項目

診療科区分、医師コード、識別番号、入院日、副症病候補、候補病名、候補病名を挙げる理由となった処置・薬剤名、ページ番号、出力日時

病名候補リスト出力順

診療科 > 医師コード > 識別番号下2桁

3.6 出来高移行一括チェック

チェックマスター.xlsx に従って検索し出来高移行チェック表を出力します。

出来高移行チェックリスト出力項目

識別番号、入院日、薬剤処置名、チェック表に挙げる理由となった処置・薬剤名、同レセプト電算コード、分類番号

出来高移行チェックリスト出力順

識別番号下2桁

3.7 省メモリ対策

不要なデータをメモリに乗せないようにすることで省メモリ対策をしています。具体的には下記です。

- ・D/F ファイルについて、不要な項目は読み込まない
- ・D ファイルについて、直近のファイル以外は読み込まない
- ・F ファイルについて、「F10-解釈番号」が A または F または - で始まる行は、読み込まない

・F ファイルについて、「F9 レセプト電算処理システムコード」で「12」「19」「7」「8」で始まる行は読み込まない

4. バージョンアップ

既に「選択の種」がインストールしてあるコンピュータに、新しい「選択の種」をインストールする際は、一度アンインストールしてからインストールしてください。